

令和2年度使用小学校用教科書採択結果及び採択理由

種目	採択した 発行者	採択理由
国語	光村	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元・題材の構成および内容の取り扱いについては、単元・教材の数と1単元あたりの授業時間数のバランスがよい。 ・ 巻頭に、学習の進め方や学年で学ぶことの一覧が示されているので、一年間の学習内容の見通しをもつことができる。 ・ 見開きで、単元の学習の流れや言語活動の具体例、ふりかえりまでが示されているのが分かりやすい。 ・ 単元のふりかえりでは、観点が明確に示されている。 ・ 文章表現・資料等については、巻末の付録が充実している。 ・ 情報の扱い方に関する事項については、「考えるとき」「集めるとき」「調べるとき」「関係をとらえよう」の4系統に分け、活用場面が意識して構成されている。また、教材文や内容と関連付けて学習できるように、特別にページを設けて、情報の扱い方に関する学習ができるようになっている。また、目次にも明確に示されていて分かりやすい。 ・ 話すこと・聞くことについては、学習のはじめに見通しをもって学習することができるように、「決めよう集めよう・じゅんびしよう・話そう聞こう・つなげよう」等と示されていて、分かりやすい。 ・ 書くことについては、学習のはじめに見通しをもって学習することができるように、「決めよう集めよう・組み立てよう・書こう・つなげよう」等という学習過程が示され、子どもの思考に寄り添ったものとなっている。また、思考ツールを例示し、構成や内容を考えることができるようになっていてよい。 ・ 読むことについては、指導事項と言語活動名を単元名に掲げ、目的をもって学習できるようになっていることで、子どもが読む目的を意識しやすい。また、言語活動例が具体的に示されているので、活動のゴールがイメージしやすい。 ・ 単元の終わりに関連図書を紹介するページがあるので、読書活動につながる。
書写	東書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「書写のかぎ」を単元の核として、知識・技能の習得、活用を組み合わせた課題解決型の単元展開になっている。 ・ 自己評価だけでなく、対話することで理解を確かめ、振り返りを深める「対話的な学び」を促す工夫がなされている。 ・ イラストを用いて、点画の書き方や筆圧の違いがわかる工夫がされている。 ・ 書き順を明示している。 ・ 水書用紙の添付により、適切な運筆を意識させ、繰り返し練習することができる。 ・ 右手、左手どちらの鉛筆の持ち方も、写真でわかりやすく掲載されている。 ・ 他教科の学習の中で書写の学びが生かせるよう、具体例が多く紹介されている。

<p>社会</p>	<p>教出</p>	<p>生活科から社会科への接続という視点がしっかりと位置付けられている。学習展開では、学習の流れに対する記述は、しっかりと位置付けられているが、特に問いと活動が連動し主体的に取り組みやすく、また学習の最後には次の学習につながる問いや視点が位置付けられている。</p> <p>ユニバーサルデザインフォントを使用し、太くて見やすい文字となっている。</p> <p>4・5年生では、選択できる学習が多く見られる。</p> <p>6年の年表では、縄文から現代まで一目でわかるようになっている。</p>
<p>地図</p>	<p>帝国</p>	<p>「地図のやくそく」「地図の使い方」のページが多く、決まりや使い方がとても見やすく解説されている。また、「地図マスターへの道」により、基礎的な技能だけではなく、位置や空間的な広がりなど「社会的な見方・考え方」の育成につながる。さらに、二次元コードにより、社会科の学習と地図がつながるように工夫されている。</p> <p>日本の資料には帯グラフがつけられており、わかりやすくなっている。また、縮尺を表すものさし(スケールバー)の表示も大きく見やすくなっている。</p> <p>再生紙で印刷は植物油インキ使用であり、用紙の大きさはA4と他社と同様だが、ページ数は120Pと多い。しかし、重量は337gと、ページ数が多いわりに軽量化されている。</p>
<p>算数</p>	<p>啓林館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面が見やすく圧迫感を与えないレイアウトになっている。 ・単元の導入部分の扱いが丁寧（特に低学年）で、操作活動なども取り入れた学習展開がされている。 ・実際に自分たちでやってみるような体験的活動が組まれている。 ・基礎基本・技能の定着を図る内容が多い。 ・多様な考えがもてる問題提示がされており、ヒントも適度で一人ひとりの自由な考えが生かされる配慮がされている。 ・日常の事象から数学的な考えを引き出すような工夫・配慮がされている。 ・児童の思考や実態に沿った単元配列（角→大きな数）がなされている。 ・「大きな数」では、唯一「数え棒」で数の仕組みを扱っている。 ・5年の「割合」では、線分図以外に「関係図」も入れており、児童の理解に役立つものになっている。 ・「確かめ問題」「振り返り問題」「応用問題」が見開きで見ることができる。
<p>理科</p>	<p>大日本</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 単元を通して、児童の課題意識が連続していくように問題の間口が広く提示されており、児童が多面的に考えることができる構成となっている。 ② 6年生だけでなく、3年生から5年生にもプログラミングの思考を意識した教材が配列されており、生活と結びつけた体験的な内容構成となっている。 ③ 導入や予想を立てる過程で、既習事項の振り返りを盛り込むなど、問題から予想し、実験や観察によって結果や考察に導かれる児童の思考に沿った学習の流れが特に優れている。 ④ 大分県の気候などの条件に照らして、例えば第5学年の「植物の成長と日光の関わり」などの単元配列が、指導時期に適している。 ⑤ 3年生から6年生まで、サイエンスワールドに大分県出身の中西麻耶

		<p>さんを紹介したり、太陽の学習の大分市美術館、ジオパークの原尻の滝、防災の佐伯市、太陽光発電の大分市を紹介したりするなど、大分県の題材をしっかりと扱っている。</p>
生活	教出	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が思いや願いを実現していく過程で、思考力・判断力・表現力等の育成が図られるよう単元の配列が工夫されており、授業改善に生かすことができる。 ・気付きを確かなものとしたり、気づいたことを関連づけたりする表現活動や交流活動の中で主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。 ・他教科等との関連が図られた学習活動が示されており、カリキュラム・マネジメントの視点から教科横断的な教育課程の工夫がしやすい。 ・就学前の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を図ったスタートカリキュラムに十分配慮されており、就学前教育との円滑な接続ができるように工夫されている。
音楽	教芸	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形作っている要素が掲載されている教材数、聴き取ったこと、思いや意図を話し合ったり記入したりできる教材数が多く、配列もよい。 ・全学年の児童にとって、学習意欲が喚起する視覚的資料、簡潔な表現が多い。 ・キャラクターを使用し、演奏への思いについて児童が共感を抱きやすいものになっている。 ・音楽づくりにおいては、音楽の基本要素である、リズム・音色・音を元にした教材がメインとなっており、児童にとって取り組みやすい。 ・鑑賞では、「学び方」「学ぶヒント」が分かりやすく見やすく掲載されている。
図画工作	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」と「振り返り」があり、教科横断的な学習も表示されている。 ・中心となる活動が大きく提示され、児童にインパクトを与え創造への興味をかきたてる。 ・二次元コードを読むことでその単元の流れがわかるとともに、技法等を視覚的にとらえることができる。 ・ページ数が適切で扱いやすい。 ・アクティブラーニングを意識して協働作業で児童の創作意欲を高める素材・題材が多い。 ・大分県立美術館の「ユーラシアン・ガーデン・スピリット」が取り上げられており、地元の美術館での鑑賞につながるものとなっている。
家庭	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・関連した学習内容を2学年に渡り配列しているため、既習事項を振り返りながら繰り返し学び、生活に生かせるように構成されている。 ・動画コンテンツの内容が29項目あり、関連するページにそれぞれついていて必要な動画にすぐつながる。文字と音声で解説されている。一覧もある。 ・重要語句を太字にし、表記にめりはりをつけている。 ・子どもが「なぜ、どうして」と考えられるような見出しになっていて、生活から課題を発見し、考え、計画立て、実践し、振り返るという学習展開となっている。 ・教科書のサイズがAB版で作業がしやすい大きさである。 ・生活の見方・考え方を4つの視点として図化し、教科書全体に渡ってマークやイラストで配置されている。また、2年間の学習の最後に生

		活の見方・考え方の視点で振り返りができるようになっている。
保健	光文	<p>① 1 単位時間に扱うページ数が 3～4 ページと適当である。</p> <p>② 図表、写真、統計が多く掲載されており、思考の助けとなる。</p> <p>③ 記述欄の数が年間授業時数から考えて適当である。</p> <p>④ 児童の生活や身近な生活環境の事例が多く掲載されている。</p> <p>⑤ 話し合いや実習等に発展できる課題数が多く掲載されており、他者に伝える力を養うことができる。</p>
外国語 (英語)	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元名から活動の内容がわかりやすく、子どもの意欲が高まりやすい。 ・ 文科省 We C a n からの内容の移行がスムーズである。 ・ レッスンごとの絵カードがあり、ミシン目が入っているので切り離しに便利である。 ・ 手書きの形に近い欧文書体を使っており、見やすい。 ・ 挿絵や図表などが親しみやすく、子どもの学習意欲を喚起しやすい。 ・ 紙質がよく、書き込みやすい。 ・ 巻末に「文字に慣れよう」のページがまとまっており、文字についての学習を効果的にできる。 ・ 単元ごとのふりかえりを児童がしやすく、3 観点（知識及び技能／思考力・判断力・表現力等／学びに向かう力・人間性）にそって項目が設定されている。
特別な教科 道徳	光文	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容項目が網羅されていて、教材が 40 あり、各校の重点課題に対応できる。 ・ オリエンテーションとして、一般的な授業の流れだけでなく、授業後の学んだことの日常生活への生かし方も示されている。 ・ 教材と関係する本が紹介されていたり、活動型教材を取り入れたりしている。 ・ イラストの数が多く、色合いも鮮やかである。 ・ 低学年では、紙芝居風に示したページがあり、短い時間で内容を理解しやすい。 ・ 身近な危険や自然災害を取り上げた実話が充実している。 ・ 内容項目を連続させて、深まりを持たせるような構成になっている。 ・ 読むだけでなく、動作化させる教材がある。 ・ いじめ問題についての教材が、質的・量的にも児童が自分自身のことを振り返りやすい。 ・ 学年が上がるにつれて偉人先人の教材が増えている。